
童謡の不思議

吐露非狩古鬱

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

童謡の不思議

【Nコード】

N8083F

【作者名】

吐露非狩古鬱

【あらすじ】

最近気が付いた童謡の不思議。ちょっとした不思議なのですが、調べると陰惨な秘密があった……？

（前書き）

あらすじの通り、最近気が付いたちよつとした童謡の不思議。
夜眠れなくなっても困るので、軽い気持ちで読んで下さいね？

「一年生になったら 一年生になったら 友達100人出来るかな」

皆さん必ず一度は聴いたことのある歌だろう。

その歌詞の通り小学一年生になった子供の学校への期待（実際はそんなに楽しいものとは思えないが）を唄った微笑ましい歌である。学校で歌った方も居るだろう。

だが皆さんはこの歌詞の『矛盾』に気が付いたことはあるだろうか。続きを記してみよう。

「100人で食べたいな 富士山の上でおにぎりを ……」

お気づきだろうか。

1人足りないのである。

小学一年生になった1人の子供が100人友達を作ったのなら、富士山の上には101人居ないと不自然なのだ。

101人でおにぎりを食べるのが最も自然なのだ。

では1人は何処へ消えたのか。

この消えた1人については諸説ある。

説1 最初の一年生は何らかの理由で死亡した為、100人で富士山へ供養にいった。

富士山が何かしらの重要な場所である可能性もある。

説2 この歌は戦時中の疎開を歌ったものであり、富士山まで101人で逃げて来たが食料難に陥り、一人を殺し、おにぎりの中に入れて100人で食べた。

等が有名である。

歌詞の上で消えた1人が果たして偶然なのか意図的なものなのか。

現在、詳しいことは判明していない――

もう一つ。

歌ではないのだが、『絶対に口に出して読んではいけない詩』がある。

『トミノの地獄』である。

これは数十年前に書かれた、トミノという少年の旅を唄った詩である。

あるラジオ番組で、この『トミノの地獄』が投稿された。男性パーソナリティはしばらくこの詩を口に出して読んだのだが、やがて気分が悪くなり、読むのが困難になったという。

この詩、内容もかなり不気味である。

頭の中で読むだけなら問題は無いのだが、声に出すと凶事が訪れるとの噂。

ただ、見方によっては非常に幻想的なフレーズが各所にあり、不思議な印象であるという。

他にも童謡で不自然なものは幾つもある。

『かごめかごめ』は確かに不気味なものがあるだろう。

最後の後ろの人物が誰かについても諸説あるが、ここでは割愛させていただきます。（著者自身が怖くなってきたから。。。）

続きはあとがきで……

（後書き）

というわけです。

確かに1人足りないんですね。多分偶然だと思いますが。。

『トミノの地獄』は結構な怖さです。

詩の印象は暗いですね。

口に出しては読まないで下さいね？頭の中だけにして下さい。

童謡も調べると中々陰惨です。（（。d 11））

ちよっと調べてみるのもいいかも知れませんか。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8083f/>

童謡の不思議

2010年12月10日01時58分発行